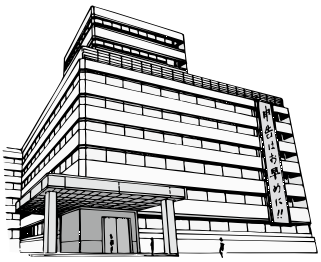
より、引き続き効率的な財政運営に取り組んでいく。また、職員数の抑制に取り組むとともに、給与の適正化にも努めている。

議員　ラスパイレス指数を下げて、定住促進のための財源として使うことはできないか。

副市長　現行では１００を基準として進めていきたい。



臨時・非常勤職員について

議員　臨時・非常勤職員は、安定的な雇用という面から考えると大変不安定な立場にある。今後の方針として、臨時・非常勤職員の処遇をどのように考えているのか。

市長　任期は原則1年となっているが、試験を実施し、3年を限度とした更新をする場合もある。賃金等については、基本的には、正規職員の初任給を基準に支給している。

笠岡市の農業施策について

議員　本市の農地利用、農業従事者についての今後の展望をたずねる。

市長　ＪＡと共同で農地の貸し借りの斡旋業務を行うこととしている。また、後継者の確保とともに、新規就農者を支援することも必要であると考えている。

小山明正議員

見守り支援体制の構築について

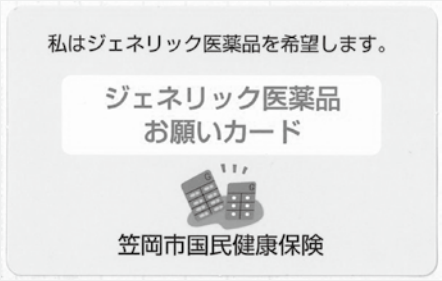
議員　共助によるごみ出し支援や買い物支援を通じた見守り体制の構築とそれへの誘導についてたずねる。

市長　だれもが支えられたり支えたりできる関係を取り戻そうと考えている。ごみ出し支援や買い物支援を通じた見守り体制構築もその一つであり、地域での仕組みを検討することが重要かつ緊急な課題であると考えている。

ジェネリック医薬品促進通知サービスの導入について（注1）

議員　ジェネリック医薬品に切り替えることによってどれだけ薬代が安くなるかを知らせる使用促進通知サービスを導入してはどうか。

市長　国民健康保険中央会でシステム開発が進められている。平成24年度までには実施したいと考えている。



ジェネリック医薬品お願いカード

電子図書の導入について

議員　Ｗｅｂ図書館は、インターネットを使用して、いつでも電子図書を貸出返却できるサービスである。利用者側、図書館側双方にとってメリットは大きい。導入してはどうか。

教育長　現在、全国的にも導入例が少ないが、これからの図書館サービスとしての認識は必要であると考えている。

ツイッターによる市の情報発信について

議員　情報発信だけではなく、情報収集にも効果が期待できる。検討状況をたずねる。

市長　本市にとってどのような活用が効果的であるか、先進事例も参考にしながら検討している。

田口忠義議員

特定健康診査等の計画と実績について

議員　平成20年度より特定健診が義務化された。健診対象者は40歳から74歳となっている。本市の実績についてたずねる。

健康福祉部長　平成20年度は、特定健診の受診率は25％の計画に対して実績は26％、平成21年度は30％の計画に対して実績は22％であった。現状は厳しく認識しており、受診率を向上させるための方法を研究している。

議員　受診しなかった人に対してどのような対応をしているのか。

健康福祉部長　今後、未受診者に対して訪問や電話での勧奨等を行っていきたいと考えている。

公共施設のトイレについて

議員　男女共用の公共トイ

（注１）ジェネリック医薬品…新しく開発された薬の特許期間が終了した後に発売される薬。開発費が抑えられるため、低価格です。